

製品別比較表

2025 年 4 月改訂

商品名	ジアゼパム錠 10mg 「ツルハラ」	10mg セルシン錠
会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	5.90 円／錠	11.30 円／錠
薬効分類名	抗不安剤／112	
組成	1 錠中ジアゼパム 10mg 含有	
性状	片面割線を有する青色の錠剤 識別記号はTSU303である。 直径：約 8.0mm 厚さ：約 2.7mm 質量：約170mg	白色～黄みの白色の片面割線入りの素錠 直径：8.1mm 厚さ：2.6mm 重量：170mg
添加物	青色1号、乳糖水和物、結晶セルロース、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物
効能・効果	○神経症における不安・緊張・抑うつ ○うつ病における不安・緊張 ○心身症（消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ○下記疾患における筋緊張の軽減 脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛 ○麻酔前投薬	
用法・用量	通常、成人には1回ジアゼパムとして2～5mgを1日2～4回経口投与する。ただし、外来患者は原則として1日量ジアゼパムとして15mg以内とする。また、小児に用いる場合には、3歳以下は1日量ジアゼパムとして1～5mgを、4～12歳は1日量ジアゼパムとして2～10mgを、それぞれ1～3回に分割経口投与する。 筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして2～10mgを1日3～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。麻酔前投薬の場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして5～10mgを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。	
溶出挙動の同等性	ジアゼパム錠 10mg 「ツルハラ」につき、標準製剤（10mg セルシン錠）を対照として、下記に示す4種試験液を用いて溶出試験を実施した結果、ジアゼパム錠 10mg 「ツルハラ」の溶出パターンは、標準製剤と同等であった。 ph1.2（100回転） ph4.0（100回転） ph6.8（100回転） 水（100回転）	